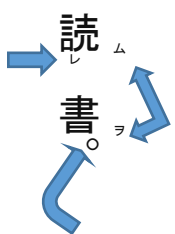


報告課題④ 第1回テストに向けて(復習プリント)

●表面

一、(例) 普通に読めば、「**読書**」。これに句読点、返り点、送り点を付けると、左の太字のようになる。

漢字の右下のカタカナを送りがなという。



「**読**」「**書**」を句読点という。これらの訓点に従って「書を読む。」としたものを書き下し文という。

漢字の左下を返り点という。

二、4 及時 ①**当** 勉 励 ①は再読文字。「当にべし。」と二度読む。

三 歳 月 ②**不** 待 人 ②は打消の助動詞。書き下すときはひらがなにする。

過 ③**猶** ④**不** 及 ⑤**也** ③は再読文字。「猶ほごとし。」と二度読む。④は打消、⑤は断定の助動詞。双方とも書き下すときはひらがなにする。

四、レポートとは違うパターンの空欄で、返り点通りに読む練習をしてみよう。

① ② ③

④

上 中 下

※「上中下点」は「一二点」を使ってもなお離れた場所にひっくり返る場合に使う。

※「一」があったら、「二」より下に、左下に記号のないマスがあっても「一」を優先させ「二」へ行ってから、左下に記号のないマスへ戻る。

※注※ (誤)

二 1 2 X 3

左下に返り点のないマスを上から順番に1→3と読んだ。「3」と読んだマスから「一」点では一文字返れないから誤りである。左の(正)のように読むのが正しい。

(正)

二 4 1 2 3 5

一番下のマスの左下に記号は付いていないが、「二」↓「二」を優先して読んでから、一番下のマスに戻る。



鬼とレポート(会)したらそのように返れ!

レポートの送り点がある箇所には返り点がないことを必ず表示する。

●例文●教科書 P 319 ~ 320

立志。(志を立つ。)
「ヲ」を読んだあと上の字に戻る。

百聞不_{ハズ}如_カ二_ニ見_ニ
一(百聞は一見に如かず。)
「二」を読んだあと二字上に戻る。

我_ニ為_ル海賊王_ト
一(我海賊王と為る。)
「ト」を読んだあと三字上に戻る。

※この文は教科書ではなく、某アニメの主人公のセリフです。

●裏面

二、「宋人」(そうひと)「宋の国の人」。「楚人」なら(そひと)と読んで、「楚の国の人」という意味。

四、④ この答えは学習書P 269 上段L9 ↓ に、日本語で説明がされている。その日本語の説明にあたる漢文の本文を抜き出せば良い。

六、く教科書P 324 「守株」において、国中の笑いものにされた農民についてく

この話の元となった『韓非子』という書物は、孔子の思想である「礼」や「徳」のある政治家が慕われるのが理想であった時代と、「礼」や「徳」ではなく厳しい「法」で人民を治めていくのがよいという時代の過渡期に作られたものである。

要するに 徳治主義から法治主義へ の流れで作られたたとえ話ということになる。

この話に出てくる農民は、一度偶然で捕まえたウサギを、以前と同じ方法で捕まえようとして、待ちぼうけ(左の表、北原白秋「まちぼうけ」の歌詞のモデル)を食らう。今まで通用した「礼」や「徳」で人民を従えていくという方法では無理な世の中になっていて、厳しい「法」を用いないと従えなくなっているのに、それをわかっていない古いタイプの政治家像を描いている。また、当時の農民は米をはじめとした、穀類や野菜類を主食としていて、滅多に動物性のタンパク質を摂取することはできなかった。偶然にウサギを捕らえた一度目は、とても嬉しかっただろうが、そうそう偶然はそんなに続かないと言うことである。

【参考】

性善説 …人間の生まれ持ったの性格は「善」であると説く。成長し、世俗の考え方が身につけてしまいうことでだんだんと「悪」くなってしまうというもの。

性悪説 …人間の生まれ持ったの性格は「悪」であると説く。だから教育や法律が必要で、それによって、成長するにつれて「善」くなっていくというもの。

※なお、教科書P 329 学習の手引き **4** や、次のレポート⑤裏面六、①く⑤の題材となっている話の多くが、愚かな人間を登場させ、注意を与える内容であることに注目しておく。また、その人間を動物に仕立てて話を進めることも多い。

●例 漁父の利：争っている間に捕らえられる「しぎ」と「はまぐり」

助長：苗を早く成長させようと、引っ張ってしまう「宋人」

朝三暮四：飼い主からドングリの数をこまかさされてしまう「さる」

矛盾：「矛」と「盾」、どちらが強いか説明できなくなった「楚人」

北原白秋 作詞 「待ちぼうけ」

1. 待ちぼうけ、待ちぼうけ
ある日せつせと、野良稼ぎ
そこに兔がとんで出て
ころりころげた 木の根っこ
2. 待ちぼうけ、待ちぼうけ
しめた。これから寝て待とうか
待てば獲物が駆けてくる
兔ぶつかれ、木のねっこ
3. 待ちぼうけ、待ちぼうけ
昨日鋤取り、畑仕事
今日は頬づゑ、日向ぼこ
うまい切り株、木のねっこ
4. 待ちぼうけ、待ちぼうけ
今日は今日ではで待ちぼうけ
明日は明日ではで森のそと
兔待ち待ち、木のねっこ
5. 待ちぼうけ、待ちぼうけ
もとは涼しい黍畑
いまは荒野(あれの)の箒草(ほうきぐさ)
寒い北風木のねっこ